

08年は「マナーの年」?

都会系へミアン風、セクシーセ
レブ系の流行がしばらく続いてい
たが、今秋冬シーズンはかっちり
としたスカートスーツを品よく着
ようと提案する女性誌が多い。

折からの「品格」ブームの上、
マナーやしきたりに関する本も続
々出版されている。なかか世の中
がちんとした方向へ動きたがっ
ているように見える。

そんな時、占星術研究家、鏡リ
ユウジさんが「2008年はマナ
ーの年」と提唱していることを知
る。星占いは「あたるも八卦^{はちが}」で
楽しむ程度だが、ずばり「マナー
の年」だなんて気になる。どんな
根拠でそうなるんですか?

「9月2日に土星がおとめ座に
移動しました。土星は〈限界〉や

〈現実〉を、おとめ座は〈秩序〉
を象徴します。この組み合わせは
相性がよく、強迫的に秩序を作り
上げ、ミニマルな部分にまで規則
性を打ち出します。また来年は
〈拡大〉の木星が〈伝統〉のやぎ
座に入り、伝統や格式に注目が集
まる、ということなのです」

現実・秩序・伝統・拡大。この
組み合わせから「マナーの年」と?
「占星術は一種のイメージゲー
ムですから」

なるほど、占星術とは解釈の術。
だから逆に、この天体の配置から
「自分の秩序からはみ出す者への

中野香織の——コロモのココロ——

排除、一糸乱れぬ動き」などの負
のイメージも読める、と鏡さん。
そういえばいま、「空気が読めな
い人」に対するバッシングは激し
く、「KYフォビア」(空気が読め
ない恐怖症)と名づけたくなる現
象も広がる。これも「秩序からは
み出す者への排除」につながる?

「空気が読めるためには、声の
トーンやタイミングなど、細かな
差異に対する目配りが必要。微細
なコードを読み解くことが知性と
感情の能力の指標になるという世
界は、まさにおとめ座的ですね」
占星術で、あたりはずれで見
るのではなく、天体イメージを軸
にした無限に広がる知的な解釈ゲ
ーム、と認識を新たにした。今週の
恋愛運チエックのお楽しみはとっ
ておきたいですが。(服飾史家)